

城西大学水田記念図書館 図書館主催研究倫理講演会(著作権も含めて)
「研究と論文と不正」

日時:2019年12月4日(水)16:50~18:20

会場:22号館102教室

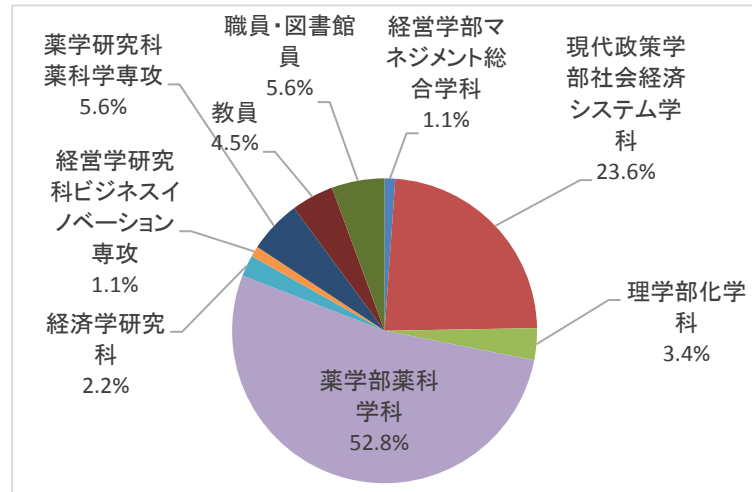
講師:時実象一先生(東京大学大学院情報学環DNP学術電子コンテンツ研究寄付講座 高等客員研究員)

参加者数:89名 アンケート回答者:78名(回収率=87.6%)

薬学部薬科学科「実習F」授業との連携で実施

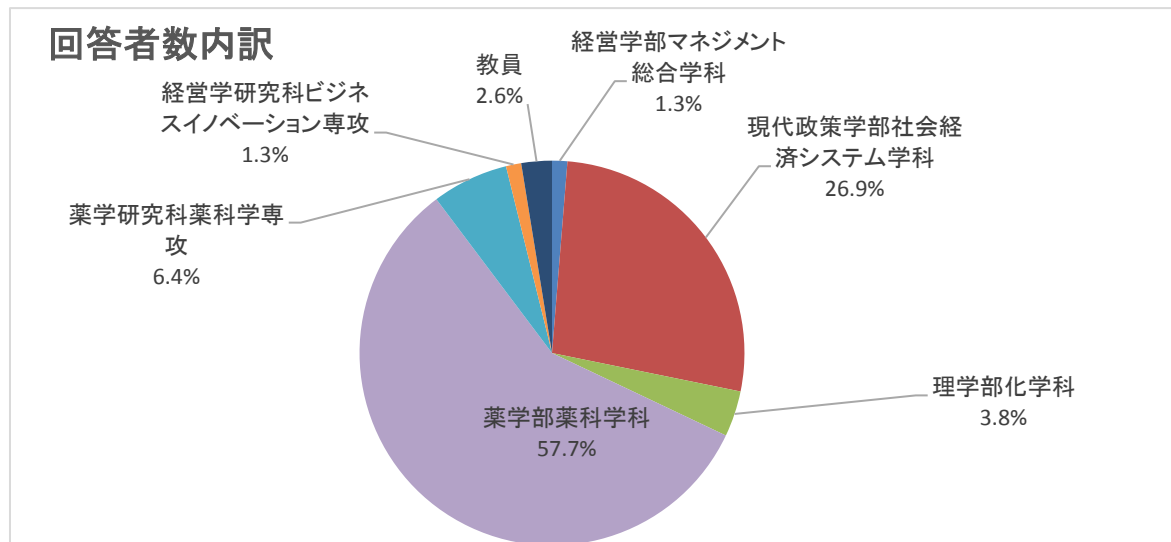
参加者数内訳

	単位(人)
経営学部マネジメント総合学科	1
現代政策学部社会経済システム学科	21
理学部化学科	3
薬学部薬科学科	47
経済学研究科	2
経営学研究科ビジネスイノベーション専攻	1
薬学研究科薬科学専攻	5
教員	4
職員・図書館員	5
合計	89



回答者数内訳

	単位(人)					
	1年	2年	3年	4年	5年	合計
経営学部マネジメント総合学科				1		1
現代政策学部社会経済システム学科	1		11	9		21
理学部化学科				3		3
薬学部薬科学科			40	3	2	45
薬学研究科薬科学専攻	3	2				5
経営学研究科ビジネスイノベーション専攻	1					1
教員	-	-	-	-	-	2
合計	5	2	51	16	2	78



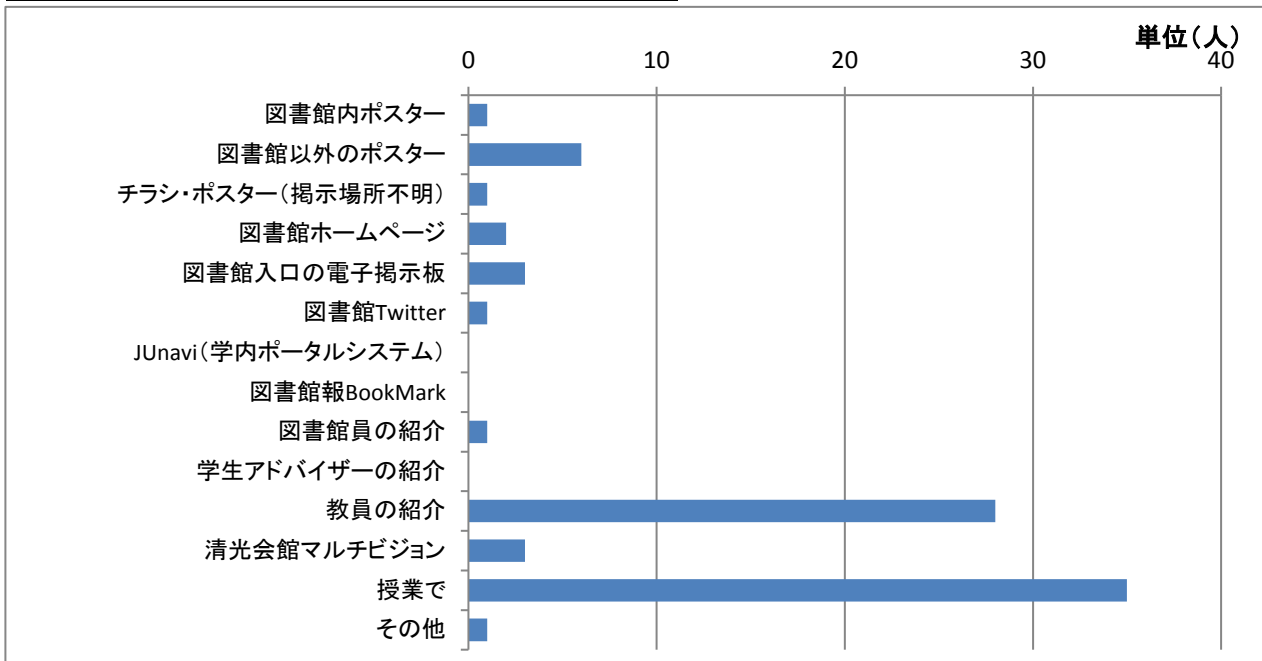
1) 今回の講演会を何で知りましたか？(複数回答可)

単位(人)

図書館内ポスター	1
図書館以外のポスター	6
チラシ・ポスター(掲示場所不明)	1
図書館ホームページ	2
図書館入口の電子掲示板	3
図書館Twitter	1
JUnavi(学内ポータルシステム)	0
図書館報BookMark	0
図書館員の紹介	1
学生アドバイザーの紹介	0
教員の紹介	28
清光会館マルチビジョン	3
授業で	35
その他	1

その他内訳

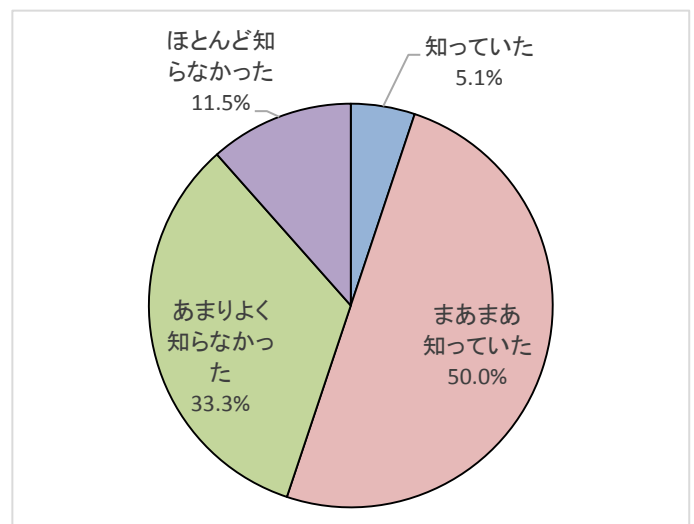
学生の紹介	1
-------	---



2) 今回の講演を聴く前に、研究倫理・著作権・剽窃についてどの程度知っていましたか？

単位(人)

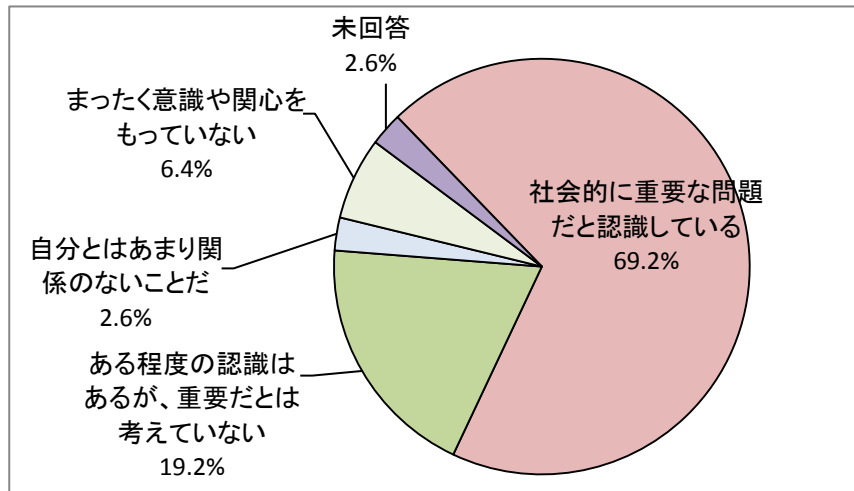
知っていた	4
まあまあ知っていた	39
あまりよく知らなかった	26
ほとんど知らなかった	9
合計	78



3) 論文執筆に係わる剽窃等が社会的な問題となっていることについて、
どのような意識をもっていますか？最も近いと思うものをひとつ選んでください。

単位(人)

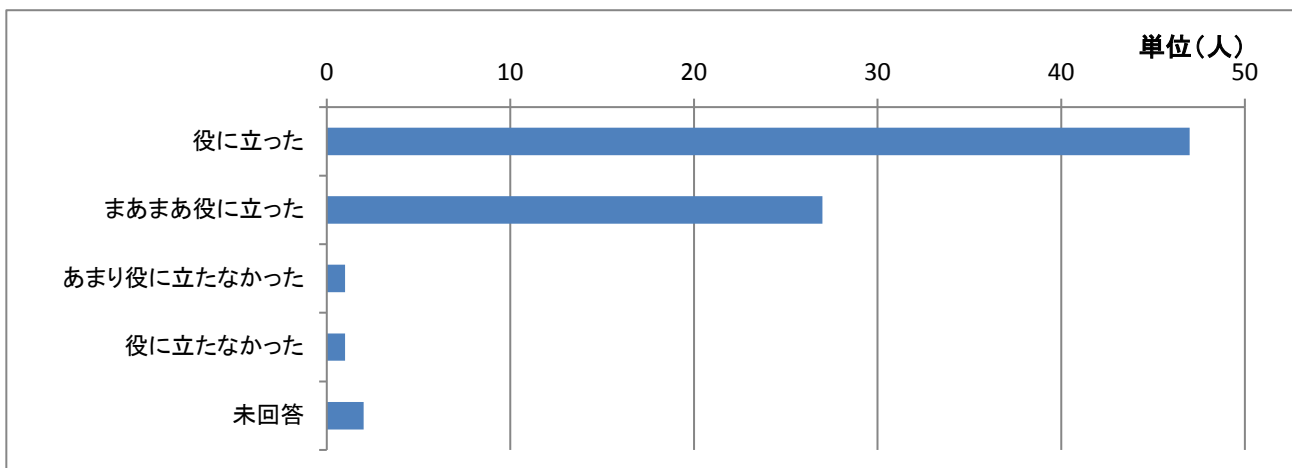
社会的に重要な問題だと認識している	54
ある程度の認識はあるが、重要だとは考えていない	15
自分とはあまり関係のないことだ	2
まったく意識や関心をもっていない	5
未回答	2
合計	78



4) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位(人)

役に立った	47
まあまあ役に立った	27
あまり役に立たなかった	1
役に立たなかった	1
未回答	2
合計	78



4)-1 役に立った・まあまあ役に立ったを選んだ理由は何ですか

単位(人)

著作権やそれに関わる問題について理解できたから	34
レポートや論文作成の際の参考になったから	48
剽窃や不正についての正しい知識が身に付いたから	16
その他	0

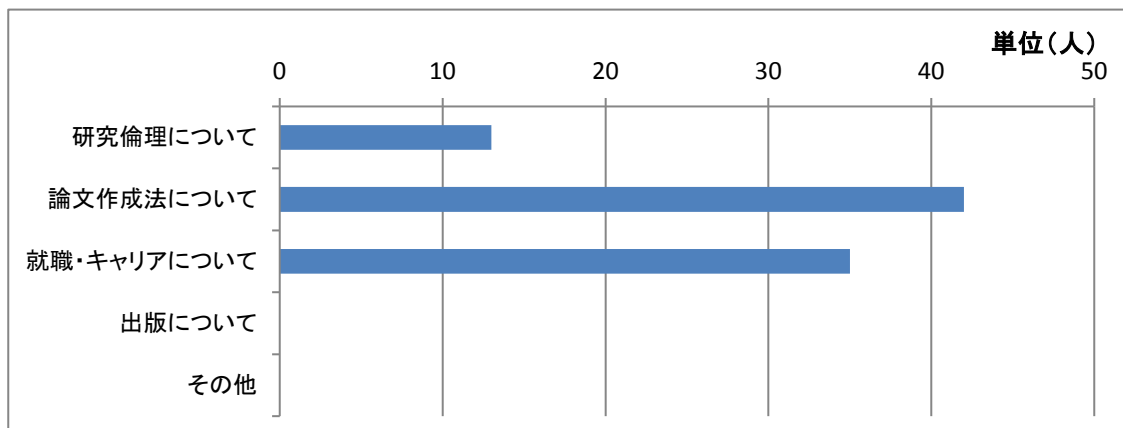
4)-2 「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」理由をお聞かせください

一度聞いたことがあったため
話がうまく聞き取れなかった

5)今後、図書館のどのような講演会・講習会に参加してみたいですか？(複数回答可)

単位(人)

研究倫理について	13
論文作成法について	42
就職・キャリアについて	35
出版について	0
その他	0



6)ご意見・ご感想をお書きください

今後論文を作成するので非常に参考になった。(3件)
3Dグラフの使い方によっては情報操作になりうることもあったことがわかった。
グラフのメモリを明確にしなければならないことが理解できた。円グラフや3Dグラフは印象操作になってしまう恐れがあったことがわかった。情報量が多かったので配られたプリントをしっかりと読み理解を深めて実行します。
グラフを作成する際など円グラフを使いがちだと思っていましたが、使うときは注意が必要など知らなかったことがたくさんあったので論文を書く際に気を付けたいと思います。
これまでの歴史においてたくさんの不正があったことに関して驚いた。論文を書く際に不正を起こさないよう気を付けて書きたいと思った。
たくさんの資料を用いての講演だったのでとても分かりやすかったです。
ツイッターでも日付を書けば参考文献として使えたと知って驚いた。
とても参考になる講演でした。ありがとうございました。
以前に実習の一環として倫理を勉強しましたが、実際にあった事例をもとに講演をしていただいたことで理解を深めることができました。ありがとうございました。
一言に改ざんといっても様々な種類があることを知りました。普段デザインなどでPhotoshopを結構用いるのでそのソフトの力は理解していますが研究改ざんに用いられるとは思いませんでした。普段科学の事ばかり学んでいた我々にとっては非常に貴重な時間になりました。ありがとうございました。

機会や動機・プレッシャー、姿勢と正当化といった不正リスク要因が監査の世界にもあるが研究論文も似たような要因があることがわかった。引用については注意する必要があると改めて認識した。

研究と論文の不正はやってはいけないことがとてもよく分かった。私も不正は絶対にしないようにしようと思う。また(ペテン師、のんき者小さな不正は不正と思わないのんき者)などで紹介されていた事件はひとくりにして一つか二つ紹介すればいいと思った。「盗作コピペはどうしたらコピペ、盗作なのか、何をしたら著作権なのか、引用とは何なのか」を知りたい(端的に)。また「盗作コピペ著作権に違反した場合」どのような罪になるのかを知りたかった。

研究をしている身としてとても大切だと思った。

研究倫理に関して著作権など守るべき決まりを今回改めて理解できました。

今回の研究と論文と不正という講演に参加させていただいて、コピペと捏造に関して今まで注意してコピペなどしないようにしていましたが、今日の講演でより知ることができてよかったです。

私は自分の研究で電気泳動を利用しているのでフォトショップでの取り扱いについて改めて参考になると思いました。またこれから学会発表や修士論文を作成していくうえで、今回の講演内容をしっかり頭に入れておくべきだと思いました。

時間が足りず、最後の方が駆け足になってしまったのが残念でしたが、今後の研究生活に生かすことができる内容でした。ありがとうございました。

実際にあった論文不正の例から具体的な研究倫理を知ることができた。

数回目の参加でしたが改めてしっかりと知識を入れることができました。ありがとうございました。

卒業論文を書く上で参考資料の使い方などの注意点がよく分かった。普段見ているニュースなども誤ったグラフの使い方がされているなど身近な話題が出たので理解が深まった。

知らないことを知れたので良かったです。詐欺グラフは恐ろしいと思いました。ネットに一度出すと削除されないということも。

不正(コピペ)はしません。

不正について改めてよく知ることができた。

不正はとても怖いものだと思います。自覚がないからと言って許されるものではなく、気をつけねばならないと思いました。

様々な不正が世に出回っていたのだなと話を聞いて感じた。

論文の不正について正しい知識を知ることができてよかった。

論文や研究の不正の事件の事例をいくつか知ることができ、大きな社会的問題につながることを認識することができた。来年卒業論文を書く機会があるため、本日学んだことに注意しながら取り組みたい。

論文不正がどれだけいけないことか痛感し、慎重に行なわなければならないと思うことができました。自分が知っていた「STAP細胞」も論文に関することだったと理解することができた。図、グラフも気を付けるべきところだと感じた。まだまだ知らないことばかりでとても為になる講演でした。

話をまとめてから講演してほしい。

剽窃や不正について知ることができたので、今書いている論文を見直しながらいきたい。